

# ♪ オペラ歌手への道 ♪

## ～遠回りばかりの音楽修行～

第63期生（新45期）福本 円



この原稿の依頼を受けた日、夏の甲子園大会の開会式が行われました。10年前、ちょうど私が高校3年生の時に能代高校が出場をしました。甲子園へ応援に出かけたことが昨日のように思い出されます。月日の流れは早いものです。

今でもそうですが、当時能代や私の育った八竜町はスポーツが盛んでした。そんな環境の中で音楽の道を志したことが、振り返ってみると自分でも不思議でなりません。

初めてピアノに触ったのは5～6歳のころでした。当時、私の両親の仕事が忙しくて、毎日幼稚園への迎えが遅く、1人で寂しく待っていたものでした。その時に幼稚園にあった1台のピアノに興味を持ちました。それが私の音楽への道のスタートでした。

ピアノを習い始めて数年は家にはピアノがありませんでした。当時は紙鍵盤なるもので指の練習をしていれば充分と両親は考えていたのか解りませんが、それが良くなかったのかもしれない。鍵盤を押して音が出るという反応が習い始めの子どもには重要だと知らされました。同時に私にはピアノの才能がなかったらしく、後から習い始めた人達にどんどんバイエル等の練習曲を追い越されました。ピアノを弾いてもちっとも面白くないので、何度辞めたいと思ったかわかりませんが、親にいつも反対されました。

中学に入って、ピアノ以外の楽器に触れる機会があり、それまで音楽と言えばピアノしかないと思っていた私は、次第に音楽の魅力にとりつかれました。その当時の音楽の先生がたまたま声楽専攻の方で、授業中、合唱での私の声を聴いて誉めて下さいました。これまで先生に期待もされず、誉められたことのなかった私が、初めて期待もされ誉められました。今でもその先生とは交流しています。

大学を選ぶとき音楽系にしようと考えました。音楽の先生でもなろうかなと教育学部を受けようと思いましたが、国立の大学に受かる成績がなかったので、私立を受験しようと思いました。

秋田の田舎から私立の音大を受験するのは情報不足も含め、恵まれない環境でした。現役では無理でした。

母の知り合いの紹介で音大の先生と出会い、声楽で受験するように勧めて頂きました。それからピアノの先生、受験に必要なソルフェージュ等を教えている塾も紹介していただき、高校を卒業してから1年間勉強しました。

大学では歌曲や宗教曲等を主に勉強しました。オペラの授業は抽選があり、外れて受ける機会があり

第26生期（新8期）  
能代高校8期関東横浜会

会長 北村 祐三  
(能代市出身)

福井県敦賀市金山65号140番地  
電話 0770-22-1340

第26期生（新8期）  
能代高校東京同窓会

幹事 岩見 尚夫  
(能代市出身)

〒146-0095  
東京都大田区多摩川2-24-62  
芙蓉ハイツ 2-803

ませんでした。

オペラに魅力を感じたのは大学2年の時、オーチャードホールでのイタリアのオペラ歌手フレニーのコンサートへ行ってからでした。それ以来、イタリアオペラ黄金期の歌手にも興味を持ちました。テバルディやモナコ、ステファノ、特にテノールのコレッリが大好きです。

話が脱線しましたが、オペラは歌いながら演技もあり、是非やってみたいと思いました。私の通った大学はドイツ系、宗教曲の音楽が主流だったので、イタリアオペラを勉強するには不利な環境でした。それに当時、オペラを歌うには声量が足りないと言われました。恥ずかしい話、実は声の出し方が大学時代は解りませんでした。考えてみると、発声を教えてもらう機会がなかったのです。

卒業して2年程経ってから、ベル・カントの発声を指導して下さる先生と出会いました。もっと早くに出会いたかったです。これまでの私の発声が、ベル・カントとは程遠いことを知らされました。

ベル・カントとは「美しい声」の意味で、18世紀に成立したイタリア式の歌唱法で音の美しさ、ムラのない響きや滑らかな歌いまわしをすることに重点を置いています。横隔膜を使った腹式呼吸で発声し、どのようなホールにも対応できるような歌唱法です。イタリアオペラやモーツアルトのオペラに適しています。

現在は日本オペラ振興会（藤原歌劇団と日本オペラ協会が合併設立した財団）の研究生としてモーツアルトから勉強しています。

遠回りしましたが、オペラ歌手への道のスタート地点にやっと立ちました。これからの道のり、どんな試練があるのか知りませんが、オペラ歌手「清水 円」が認められるまで突き進みたいです。

能代高校からも芸術の道を志す人がどんどん増えて欲しいと願っています。長々と文章を読んで頂いた皆さん、ありがとうございます。



第26期生（新8期）  
能代高校同窓会 青森支部 会長

家庭の銀行  
みちのく銀行

頭取 原田和夫

〒030-8622 青森市勝田1丁目3番1号  
TEL 017-774-1111  
FAX 017-776-3807  
E-mail : hisho@michinokubank.co.jp

ビル管理

株式会社 ホンマテクニカル

代表取締役 本間義章

〒167-0015  
東京都杉並区荻窪5-30-12-510  
TEL 03-3391-7001(代表)  
FAX 03-3391-7060  
携帯 090-3247-1770

# 気がつけば半生を語ってしまっていたわたし

—映画ファンから映画(会社)人生へ—



第53期生(新35期) 吉田 順

1983年に能代高校を卒業しました吉田といいます。わたしたちの頃は何期とかいう概念がなかったので、「何期？」と聞かれても困っちゃいます。能代高校東京同窓会に関わるようになって、自分が新35期生というものらしいということがわかりました。

それはさておき、その後中央大学法学部を卒業し、現在の東映株式会社に入社しました。中央といえど司法試験か公務員。ごたぶんにもれず、わたしの大学の同期もほとんど公務員です。わたしだけが変り種なんです。

しかし、大学時代から映画を観て歩くことに青春をかけていたわたしには別に不思議なことでもなかったわけです。自分でいうのもなんですが大学時代にはよく勉強しました。その合間をぬって観て歩いたので、年間100本ぐらいのペースで観ましたかね。会社に入ると当然のように上には上がいるもので、年間300本、400本ペースで観て歩いたというつわものがありました。ほぼ、毎日映画を観てたわけですよ。一見不可能に見えるこの数字ですが、実はポルノ映画までくまなく観ると可能なんです。短くて2本立てだから。学校は行ってたのかよ、と思うのですが、まあ、人それぞれですから。

映画会社に入ったものの人生とはうまくいかんもので、最初の配属先は経理部でした。その頃はまず、就職して自分で食えるようになることがまず第一でしたので、配属とかは考えてなかったのですが、いざ、毎日がそういう仕事となると、これじゃ公務員と変わらん。民間会社に入った意味ねーじゃんと思うようになりました。会社の金で簿記3級とかがとれて、貸借・損益とかがわかるようになったので、まったく無駄ではなかったのですが、そのうち欲が出てきました。

脚本らしきものを書いてみたり、その手の賞に応募してみたり、そして、異動願いを出したりと、しているうちにあがきが認められて、映画の企画部門に異動になりました。

喜んだのもつかの間、実はだましみたいなもので、「東映音楽出版」という子会社をたちあげるのに経理がわかる人間が欲しかっただけだったのです。音楽にはいろいろな権利がありまして、説明するとめんどくさくなるのですが、この会社は主に映画の背景音楽(BGM)の製作と権利の管理をする会社です。ところが、これがおもしろかったんです。何もないところから会社を立ち上げるというのは大変なようで、自分の好きなようにいろいろできるんですから。「音楽著作権管理者」なるナゾの資格までとってしまいました。

ところが、不思議なもので、たちあげてる最中はおもしろいのですが、ルーティンにのってくるとつまらなくなるんですよ。「なんかつまんなくなってきたし、めんどくさいこと多くなってきたな」と、思ったところで、いい口実ができたので、足抜けしちゃいました。

第27期生(新9期)  
能代高校東京同窓会

幹事 石嶋喜直  
(八森町出身)

東京産業株式会社 顧問

第27期生(新9期)  
能代高校東京同窓会

幹事 大村眞陸郎  
(八竜町出身)

東京八竜会  
大和設備株式会社 常務取締役

そのあと、企画に戻ったわたしは仕事がなくてひまでしばらく遊んでおりました。しかし、おせっかいなことにというか、いい人なんだろうが、そういう遊んでる人を働かそうと思う人がいるんですよ、会社って。あたりまえか。

それで、いまは何をやっているかという、主に映画の製作提携契約担当です。昔と違って、映画会社が1社で映画1本をつくるということがなくなってしまいました。リスクヘッジというやつです。少ない時で3社、多いときには10社もが集まってお金をだしあって1本の映画をつくるようになりました。製作委員会方式というものです。これにあたっては、いつ、いくら払ってもらえるのか、そして、それにあたってはどのような権利が欲しいとかいろいろあって、そこらへんの交通整理をして契約にこぎつけます。結局、法学部出身は法律なのね、みたいなおちになってしまいました。

いまやっている仕事のことを書こうと思いつつ、そこにいたるまでにこんなにページをとってしまいました。いまの仕事についてはまたの機会ということで。

11月16日全国東映系公開、優香主演の「恋に唄えば♪」では製作委員会の一員として、エンドロールにババーンとわたしの名前が出ていますので、ぜひ、観てやってくださいませ。

### 3月16日、脳溢血で倒れ現在療養中です。

#### 第26期生（新8期） 八 柳 昭 義

今年3月16日の夜、自宅で脳溢血で倒れ、救急車で病院に運ばれ、そのまま入院していましたが、病状が思ったより軽くすんで、まだ右手足にマヒ状態があるため、歩行等に支障が残っていましたが、3ヶ月入院して6月21日に退院し、その後はリハビリや訓練をしながら、現在自宅で療養生活をしています。入院した当初はどうかと思いましたが、幸い症状も軽くすんで、3ヶ月の入院で退院することになりました。また、会社も5月に定年退職しました。という訳で、残念ながらまだ暫らくは手足に不自由が残っているので、今までのように東京同窓会の仕事などが出来なくなりました。

しかし、同窓会の仕事は幹事役員の皆さんが手分けして後を引受けてやってくれています。有り難い事です。今後も会員皆様方の、より一層のご支援ご協力を宜しくお願い致します。

#### 第27期生（新9期）

##### ダイナミック工業（有）

代表取締役社長 **田 村 紀 允**  
のり よし  
 東京八竜会監事（八竜町出身）

工場： 埼玉県本庄市見福1-15-13  
 TEL 0495-24-7370  
 自宅： 埼玉県児玉郡児玉町入浅見929-3  
 TEL 0495-72-5357

#### 第28期生（新10期）

##### 能代高校東京同窓会

監 事 **大久保 征 輝**  
 （能代市富町出身）

〒330-0037 さいたま市東大成町2-191-507

#### 第29期生（新11期）

あなたも手話を勉強してみませんか  
 手話サークル「二人会」

主 宰 **石 川 正 順**

電 話 0470-62-3282  
 Email : seijyum-syuwa@boat.2ero.ad.jp  
 勤務先：財団法人千葉県動物保護管理協会

#### 第30期生（新12期）

##### 能代高校東京同窓会

幹 事 **熊 谷 幸 夫**  
 （能代市出身）

新総建設株式会社 東京出張所長



## 檜山の古刹—多宝院のこと—

第25期(新7期) 佐藤信樹

わたしが子供のころ、お盆の墓参りに家族と連れ立って、能代から檜山の多宝院まで約3里の道のりは、石ころ道をしてて歩いておよそ3時間かかった。多宝院に着くと、外から入った庫裏は薄暗く、お大黒さんがにこやかな笑顔で迎えてくれて「大儀だったんすな」と言っちは赤ずしを振る舞ってくれたものだ。その時の味が忘れられなくて、今でもわたしの好物の一つとなっている。

さて、古利多宝院に触れることになるが、同寺は今からちょうど400年前の慶長7年、佐竹氏の秋田入部にともない客分として檜山郡を治めることになった、下総国(茨城県)下妻城主の多賀谷宣家公が、この地を一族終生の地として下妻から移し、菩提寺とした由緒ある寺院である。

現在の建物は火災消失後の明和8年(1771年)に再建されたもので、それからでも230年余りの歳月と風雪に耐えてきた。

なにしろ能代湊が発達する以前の中世、檜山安東氏時代から栄えた町だけに、史蹟、遺構は多い地域なのだが、現存する構造物の中でも多宝院の伽藍は、山門、鐘楼、本堂とも貴重なもので、秋田県の指定有形文化財となっている。本堂の廊下は、今ではあまり鳴らなくなってしまったけれども、東北では珍しいウグイス張り、庭園は、京都東山の銀閣寺を模したといわれる深い緑が、訪れる人びとの心に安らぎと癒しを与えてくれる。

また、春4月下旬に咲くしだれ桜は、あたかも美しいシャワーのように歴史を刻んだ寺院を彩り、近隣から多くの花見客が訪れて一ときの賑わいをみせる。

ことし早春の3月、畠会長たちが関東のしろ会からのしだれ桜の苗木を贈ってくれて、壇信徒の手で植栽された。いずれ年月が経つにつれ、ふだんは森閑とした多宝院の境内を一層艶やかに引き立ててくれることだろう。

※佐藤氏は、1994年に「湖が燃えた日」で魁文学賞を受賞し、本年6月、秋田文化出版から短編集「埜地(えいち)」を出版されました。能代市松美町在住。



2002.4.21

多宝院境内の満開のしだれ桜—第48期生(新30期)の野村松信さん撮影・ご提供  
(秋田公立美術工芸短期大学 助教授)

関東のしろ会と能高東京同窓会

# 郷土の緑化にひと役

## 母校や多宝院にシダレザクラなど植樹

関東のしろ会（高田政勝会長）と能代高校東京同窓会（畠豊彦会長）は23日、同校と同市松山の多宝院を訪れ、ふるさとや母校の緑化に一役買おうとシダレザクラなどを植樹した。

両会は郷里や母校の緑化に役立ててもらおうと今回の植樹事業を計画。午前中は能高東京同窓会が同校の前庭にシダレザクラやサルスベリなど3本を植樹したほか、午後からは両会のメンバーが多宝院を訪れ、多宝院護寺会（戸松正之会長）の協力を得て、駐車場となっている敷地の一角にシダレザクラ6本を植樹した。

植樹したのは高さ4メートルほど、7、8年もののシダレザクラで、関東のしろ会の副会長で造園業を営んでいる平川直治さんが東京から持参。中にはすでに花を咲かせたものもあり、作業中は雪に見舞われたが、メンバーらは可れんな花をめりながら、木を立てたり支柱を施したりする作業に取り組んでいた。

畠会長は関係者の協力に感謝しながら「これっきりでなく、少しずつでも多宝院の桜を増やしていきたい。何十年かけて立派な大木になってくれたら」と話し、同院で懇談したあとは標柱も立てて、新たな「名所」誕生への願いを託した。



第32期生（新14期）  
能代高校東京同窓会

副会長 **高田 政勝**  
(能代市出身)

〒188-0013 東京都西東京市向台5-4-415

第35期生（新17期）

**AGIC**

代表取締役社長 **川添 能夫**

エイ・ジー・インターナショナル・ケミカル株式会社  
e-mail: kawazoe@agic.co.jp  
ロスアンゼルス、アラスカ、サウジアラビア在住経験  
有。趣味：読書、旅行、演芸、演劇観賞、ゴルフ

# 会 則

- 第 1 条 本会は秋田県立能代高等学校東京同窓会と称する。
- 第 2 条 本会は能代高等学校を卒業、又は在籍したことがあり、東京及び東京近郊に居住する者は、全てその入会の資格を得るものとする。
- 第 3 条 本会は同窓生各位の親睦と相互の繁栄を図り、以て郷土の発展と母校の興隆に寄与するものとする。
- 第 4 条 本会は幹事を置く。但し、人数は制限しない。任期は定めない。
- 第 5 条 幹事の内より、会長 1 名、副会長若干名、会計若干名を置く。顧問を置くことができる。但し、任期は各々 2 年とし、留任は妨げない。
- 第 6 条 本会の運営に当たり、事務局を設ける。
- 第 7 条 本会の運営一切の事項については、幹事会に一任する。
- 第 8 条 本会は年 1 回総会を開催する。
- 第 9 条 本会の運営費は、会員の納付した年会費、寄付金その他を以てこれに当てる。但し、年会費の金額に関しては、幹事会がこれを定めるものとする。
- 第 10 条 納付された運営費は返還しない。
- 第 11 条 本会の会計年度は、毎年 10 月 1 日に始まり 9 月末日を以て終わる。
- 付則 本会は昭和 53 年 10 月一部改正する。本会則は平成 3 年 6 月一部改正する。

第 29 期生 (新 11 期)

## 赤塚税務会計事務所

会社設立、相続、贈与等税務相談  
(お気軽にご相談下さい)

税理士 赤塚 鉄男 (新制 11 期)

税理士 赤塚 聡 (明大 出身)

税理士 赤塚 英子 (早大 出身)

〒 352-0001

新座市東北 2 丁目 6 番 6 号

電話 048 - 476 - 3811

FAX 048 - 476 - 6781

第 46 期生 (新 28 期)

## 株式会社

## 舞台美術 石井組

代表取締役

石 井 高

〒 150-0002

東京都渋谷区渋谷 3-27-15

光和ビル 4 階

TEL 03-3406-8836(代)

FAX 03-3406-8837

# 役員名簿

顧問 小林 肇 第19期生 (旧19期)  
 顧問 村木 良二 第14期生 (旧14期)  
 顧問 高橋 義三 第17期生 (旧17期)

会長 畠 豊彦 第25期 (新7期)

副会長 畠山 信孝 第26期 (新 8期)、副会長 関根 市男 第29期 (新11期)  
 副会長 磯部 博 第32期 (新14期)、副会長 高田 政勝 第32期 (新14期)  
 副会長 庄内 正 第34期 (新16期)、副会長 干場 革治 第35期 (新17期)  
 副会長 若狭 秀巳 第37期 (新19期)、副会長 菅原 渉 第39期 (新21期)  
 副会長 三浦 洋 第45期 (新27期)

事務局長 八柳 昭義 第26期 (新 8期)  
 監 事 大久保征輝 第28期 (新10期)

## 各期幹事

(旧16)熊谷 洋三	(新 1)八木喜徳郎	(新 4)村井 克自	(新 6)山縣 輝輔	(新 8)佐々木 章
(新 8)岩見 尚夫	(新 9)石嶋 喜直	(新 9)佐藤 英哉	(新 9)大村眞陸郎	(新10)穴山 勝良
(新11)太田 勝治	(新11)宮腰 興紀	(新12)熊谷 幸夫	(新13)小林 武廣	(新14)七尾 宏一
(新15)武田 功	(新15)矢木 信章	(新16)西川 廣正	(新17)小野 信継	(新18)武田 忠克
(新19)今野 広隆	(新19)加茂谷純一	(新20)伊藤 陽一	(新20)坂田 二郎	(新21)大塚 進
(新22)智田 農	(新23)小河 範也	(新23)加賀 久毅	(新25)小林 彰	(新25)佐藤 清明
(新25)渡辺 博栄	(新26)石川 幹夫	(新26)庄内 俊憲	(新26)森岡 雅信	(新26)原田 治彦
(新27)高松 武史	(新27)袴田 邦夫	(新28)石井 喬	(新28)斎藤 靖雄	(新28)平川 尚
(新30)斎藤 昌哉	(新31)田村 盛仁	(新35)吉田 順	(新37)川上 長人	(新38)佐藤 賢治
(新38)田村 重光	(新43)福本 円	(新44)大高 忠勉		

第37期生 (新19期)  
能代高校東京同窓会

幹事 **今野 広隆**  
高千穂商科大学商学部 教授

〒168-8508 東京都杉並区大宮2丁目19-1  
e-mail: imano@takachiho.ac.jp

第37期生 (新19期)  
能代高校東京同窓会

副会長 **若狭 秀巳**  
(山本町出身)

企業経営の「お困り相談室」  
有限会社 素道 代表取締役  
TEL・FAX 0468-73-4033  
Email:VEK03527@nifty.ne.jp



# 平成 15 年度 活動方針 (案)

## 基本方針

- I 参加会員の増加を図り、会員の一層の親睦をめざす。
  - II 会費等の増収による財政基盤の安定化を図る。
  - III 情報の共有化を図る。
1. より多くの会員の参加による、会の活性化
    - ・若年会員への参加の呼びかけと、女性会員の掘り起こしを行う。
    - ・各卒業期幹事の増員を図り、活動のサポート体制作りをめざす。
    - ・各種同好会の奨励と参加への勧誘を行う。
    - ・新卒会員の歓迎・激励のあり方を検討する。
  2. 財政基盤の確立
    - ・年会費の納入率の向上と、会費の増収に努める。
    - ・年度予算に基づく収支の合理的運用を図る。
    - ・名簿の整備と転居者の追跡調査を充実させ、会費の納入依頼を行う（年2回）。
    - ・会報協賛広告並びに寄付金の募集を、広範囲に継続して行う。
  3. 広報活動の充実化による情報の共有化
    - ・ホームページ等への自己紹介頁を拡大化し、親睦と情報交換を図る。
    - ・会報掲載情報の質と量の充実を図り、会への親密性・信頼性の獲得、活動の浸透化をめざす（新聞形式・年2回発行等）。
    - ・会報の一元化（本部支部会報の一本化）を検討し、同窓生による情報の共有化と広報費用の合理化をめざす。
  4. 役員及び事務局の体制の強化
    - ・役員の選出体制の合理化（期別推薦制等）と人材の開発を図る。
    - ・一業務複数の役員担当及びサポート幹事による事務局体制の整備強化を図る。
    - ・会則の見直し整備を検討する。
  5. 母校及び同窓会本部等との連携強化
    - ・同窓会本部・支部及び本部事務局との交流（総会・懇親会への相互参加等）の活性化をめざす。
    - ・ホームページ及び会報等を通じて、母校及び同窓会本部との情報交換をすすめる。

第41期生（新23期）

◆各種広告用写真撮影

◆会社案内・カタログ・パンフレット等の企画・印刷

株式会社

ウイング クリエイティブ エージェンシー

**小 河 範 也**

〒120-0046 足立区小台1-5-3-318  
TEL03-3879-1546 FAX03-3879-2290  
E-mail:wingca@tt.rim.or.jp

第43期生（新25期）

**佐 藤 悌 弘**

# 平成 15 年度 予算 (案)

平成 14 年 10 月 1 日～平成 15 年 9 月 30 日

収入の部			支出の部		
項目	金額	備考	項目	金額	備考(前年度実績)
1. 総会費	840,000	120 名×7000	1. 総会費	1,100,000	(1,097,800)
2. 年会費	600,000	200 名×3000	2. 会報費	280,000	(277,000)
3. 寄付金	245,000		3. 通信費	130,000	(239,000)
4. 会報広告代	400,000		4. 広告費	70,000	(65,730)
5. 預金利息	200		5. 交流費	290,000	
			6. 事務費	45,000	
			7. 名簿整理費	20,000	
			8. 雑費	30,000	
収入合計	2,085,200		支出合計	1,965,000	
			当年度残高	120,200	
			前年度繰越	347,328	
			次年度繰越	467,528	

日本カイロプラクティック連盟認定会員  
東京カイロプラクティック協同組合監事  
全国キネシオテーピング協会指導員  
東京都知事認可

カイロプラクター  
物理療法師

**関根市男**

第29期生(新11期)

**関根カイロプラクティック院**

〒150-0002 東京都渋谷区渋谷 1-8-5  
グローリア宮益坂ビル 302号  
TEL・FAX 03-3406-1189  
携帯 090-8817-3652

はげ、虫歯、ガン、伝染病以外は何でもOK。  
人生100年になろうとしている現在、健康を害  
しては生きている甲斐がない。薬剤では手  
におえない、事故などの後遺症や生活習慣病等  
で、医者に見捨てられた方、おいでください。

H14年6月「魔法の手」を自費出版しました。

第46期生(新28期)  
能代高校東京同窓会

幹事 齋藤靖雄

ふたば法務合同事務所  
司法書士・行政書士

e-mail: saito-yasuo@nifty.com

第49期生(新31期)  
能代高校東京同窓会

幹事 田村盛仁

クレディ・スイス生命保険株式会社  
生命保険協会認定FP

e-mail: m.tamu02251@dokomo.ne.jp

## 秋田県八竜町東京八竜会

顧問	川村幸信	(能代高・浜田)
顧問	桧森宏	(・浜田)
常任顧問	進藤義男	(能工高・鶴川)
会長代行	大沢敏夫	(能工高・大曲)
副会長	畠山信孝	(能代高・大曲)
副会長	多賀力ヨ	(能北高・浜田)
副会長	畠山昇	(能代高・大谷地)
幹事長	金子良敏	(能北定・大口)
副幹事	工藤京子	(能北高・芦崎)
理事	伊東テイ	(能北高・大曲)
理事	伊東佳子	(二井高・浜田)
理事	梅田金七	(能代高・釜谷)
理事	大村真陸郎	(能代高・釜谷)
理事	工藤清	(能工高・芦崎)
理事	進藤秀男	(能工高・鶴巣)
監事	畠山喜満	(能代高・大曲)
監事	田村紀允	(能代高・大曲)

## 能代高校第26期会

### 第17回同期会出席者有志

堀内良三	(その外)	北村祐三	(観光)
竹内堯	(ゴルフ)	田村義春	(その外)
諸沢鈴男	(その外)	野呂進	(その外)
塚本正	(ゴルフ)	工藤真也	(観光)
神田政直	(その外)	浪岡盛弥	(ゴルフ)
松橋重美	(ゴルフ)	佐藤満	(観光)
宮腰久輔	(観光)	木藤雄介	(その外)
佐藤泰信	(その外)	山木雄三	(その外)
金子良一	(ゴルフ)	梅田祐吉	(その外)
小笠原久治	(観光)	嶋田正道	(ゴルフ)
佐藤正博	(観光)	佐々木高博	(観光)
伊藤一雄	(ゴルフ)	武田進	(その外)
新川孝道	(その外)		

## 新橋で同窓生に会える店

第36期生 (新18期生)

《お昼には麦とろろご飯に

焼き魚か煮魚が一品ついた定食が人気!》



おいしい酒  
と肴の店

# 新橋「和作」

加藤和海 (能代市新柳町出身)

新橋駅前ビル1号館 (蒸気機関車の反対側の駅前ビル1階)

**TEL 03-3575-1756**

御徒町で同窓生に会える店

第43期生（新制25期）

ふぐ・季節料理

きくち

菊池忠夫



〒110-0005

東京都台東区上野6-6-4 デュークビル1F

JR御徒町駅より歩いて3分位

電話 03-3839-3382

e-mail : fugu-kikuchi@mrg.biglobe.ne.jp

白神山地（藤里町）出身

<http://homepage2.nifty.com/shoryo-tokyo/>

<http://homepage2.nifty.com/shoryo-tokyo/g2kikuchi.html>

あなたの大切な知的財産権

特許発明・実用新案・意匠創作・商標登録

・著作権を守るために、ご相談ください。

弁理士 畠 豊彦 第25期生（新7期）



畠特許事務所

〒110-0016 東京都台東区台東4-31-5 オリオンビル7階

TEL. 03 - 5816 - 4441 FAX. 03 - 5816 - 4442

e-mail : BRB06442@nifty.ne.jp

自分史・家族史・詩集・句集・文集・画集・写真集等の自費出版をしませんか？

長い間に集積してきた貴方自身の趣味・研究成果・生活記録等を一冊の本、あるいはCD-ROM等に集大成してみませんか？

原稿の整理やまとめ方など、又予算等もご相談に応じています。お気軽に何でもどうぞ。

お見積無料

企画・デザイン・編集から印刷・製本まで



# 大森太田印刷株式会社

太田勝治

第29期生（新11期）琴丘町鹿渡出身

〒143-0015 東京都大田区大森西2-15-21

電話 03-3765-1779 FAX03-3766-1228

E-mail: fwis4529@mb.infoweb.ne.jp

第26期生（新8期）  
能代高校東京同窓会

事務局長 **八柳昭義**  
(能代市出身)

〒164-0012 東京都中野区本町6-18-16



第45期生（新27期）  
能代高校東京同窓会

副会長 **三浦洋**  
(山本町出身)

e-mail: ja7njn.miura@nifty.com

第45期生（新27期）

ピーシーセブン柏店

代表 **佐々木良輔**

E-mail: kashiwa@pc7.co.jp

TEL 04-7144-9777

FAX 04-7146-7877

山本町羽立を離れて早や28年。千葉へ根付いて12年。  
いずれ懐かしい生まれ故郷に帰ることになるでしょう。

## 戦わん哉

一、戦わん哉 時至る  
我に敵する何者ぞ  
松陵健児 ゆくところ  
陣鼓 山河に高なりて  
征覇の望み 今ぞ燃え  
昂々然の 意気高し

二、春逝ぎ 野辺の花がすみ  
消えて 松陵 緑せば  
血は湧き立ちて 逆まきて  
燃ゆる意気の 北の子は  
利剣に光りを 仰ぎしが  
遂に 試練の 時至る

三、三年 暫しの 夢追わぬ  
ますらたけをの 今日の日  
時、乾坤に移ろいて  
聖者の鐘は今鳴りぬ  
健児理想も 華やかに  
輝く覇業を なさん哉

## 日本海

日本海の 荒波の  
燃ゆる血潮の しぶき浴び  
雄図目ざして 今立てり  
健児征馬の ゆくところ  
敵城 潰えて 影もなし  
勝利 勝利  
誉は高し 我らが選手

## 讃歌

たからかに  
われら讃うわが選手  
見せよ日ごろの  
きたえし力  
たたかい抜け  
力の限り  
行く手には  
輝く栄光あり

## 凱歌

一、天馬 空征く 雄たけびに  
燃ゆる健児の 意気の火や  
宴にけがれし 巷をよそに  
春秋きたへし 腕によりて  
誉は高し 優勝旗

二、北斗ひとたび ひらめけば  
伏して群星 影もなし  
勝利をかたどる 桂の冠  
栄ある凱歌を 胸に秘めて  
誉は高し 優勝旗

遠征歌

一、潮騒さゆる 北海の

岸のほとりに 地を占めて

たゆまぬ歩み 幾年の

陣容なりて 時至る

二、見よ この姿 この光

奥羽の華と うたわるる

高き誇りを 身にひめて

立てり 能高 健男児

三、百練千磨 山を抜く

力は内に 溢れたり

誰か とどめん 若人の

嵐に向かう 熱血を

四、いざや 征衣の袖軽く

奮えて行けや 我が選手

いざや輝く 栄冠を

勝ち得て帰れ 我が選手

北羽に吠ゆる

一、北羽に吠ゆる 米代の

碧瀾くだけ 野をひたし

大河 悠々 海に入る

ゆかしの国に 開をあぐ

高き理想の 若人よ

戦わん哉 時至る

二、曇らぬ胸に 伝統の

幾星霜の 歴史をば

栄冠かち得て かざらんと

刻みし五体は 火と燃えて

唯 鷲進の 若人よ

戦わん哉 時至る

三、涙をのみて 去りゆきし

幾多の友の 望みをば

果さん時は 今なるぞ

行け松陵の 健男児

行け松陵の 健男児

戦わん哉 勝たん哉

逍遙歌

洛陽寒く 黄昏て

雪や比叡に かかる時

紫紺輝く 旗風に

勝利を寿ぐ 若武者よ

凄風惨雨 狂う夜は

傷に悩みて 潜みしも

蚊竜逐に 雲を得て

今 昇天の時至る

努力の跡を 見返れば

臥薪嘗胆 ここ三年

嵐気に立ちて 薄命に

涙せし日ぞ 幾度ぞ

涙と血とに 勝ち得たる

光栄の表徴の 尊さよ

希望に明くる 曙に

戦わん哉 勝たん哉



家庭用品の専門商社

株式会社 **友和**

本社 〒164-8610 東京都中野区中央5-7-1

電話 03 (3383) 2111 (代表)

FAX 03 (3380) 1181

URL <http://www.yuwa.co.jp/yuwa>

代表取締役会長 小林 肇

第19期生 (旧19期)

お客様に喜ばれる仕事をする



全国ネットの流通システム

## 秋田県立能代高等学校同窓会

〒016-0184 秋田県能代市字高埜2-1

電話 0185-54-2230

Eメールアドレス: [n7923shi@shirakami.or.jp](mailto:n7923shi@shirakami.or.jp)

顧問	佐々木 満(15期)	宮腰 洋逸(23期)	
会長	田中 仁純(25期)		
副会長	田口善一郎(16期)	続 隆(21期)	柴田 郁(24期)
	工藤 茂宣(30期)	畠山 良子(30期)	山田 孝行(32期)
	飯坂 誠悦(35期)	柴田 寛彦(37期)	
会計幹事	大阪 昇一(23期)	佐藤 浩嗣(30期)	佐々木雅昭(40期)



## 能代高校東京同窓会 会報 第12号

発行日 平成14年10月5日  
発行 能代高校東京同窓会  
発行責任者 会長 畠 豊彦(新7期)  
編集責任者 副会長 若狭 秀巳(新19期)  
印刷 大森太田印刷有限公司 太田勝治(新11期生)

### 東京同窓会に関するお問合せ・連絡先；

〒110-0016 東京都台東区台東4-31-5 オリオンビル7階  
畠特許事務所内 能代高校東京同窓会事務局 畠 豊彦  
TEL. 03-5816-4441  
FAX. 03-5816-4442

※転居・訃報等の情報は、事務局または役員・幹事まで  
ご連絡ください。

